



平成 28 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇  
 ( コ ー ド 番 号 : 2 7 0 0 )  
 問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員  
 管 理 部 門 統 括 稲 垣 英 樹  
 電 話 番 号 0 3 - 5 6 3 6 - 1 5 0 1

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日の平成 28 年 12 月期第 1 四半期決算発表時に開示した平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）及び通期（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 第 2 四半期累計期間の連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,300	510	500	370	43.63
今回発表予想 (B)	54,000	720	750	590	69.57
増減額 (B - A)	3,700	210	250	220	
増減率 (%)	7.4	41.2	50.0	59.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期 第 2 四半期累計期間)	51,082	779	797	522	61.61

#### 2. 修正理由

第 2 四半期累計期間の連結売上高については、主力である米穀事業の国内平成 27 年産米の販売単価が前年同期比上昇したこと、国内の玄米・精米の販売数量やミニマム・アクセス米の取扱数量が前年を上回る水準で推移したことから、前回発表予想を上回る見通しです。

また、利益については、米穀事業において中食や外食向けの精米・玄米販売の拡大、仕入手法の多様化の推進、販売コストの削減、在庫管理の徹底等に注力したことが奏功したほか、採算悪化が続いていた鶏卵事業が改善したため、前回発表予想を大幅に上回る見通しです。

#### 3. 通期の連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	103,000	1,130	1,110	750	88.43
今回発表予想 (B)	103,000	1,230	1,230	870	102.58
増減額 (B - A)	0	100	120	120	
増減率 (%)	-	8.8	10.8	16.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	100,724	1,385	1,389	988	116.54

#### 4. 修正理由

通期の連結売上高については、第2四半期累計期間の売上高の見通しは前回発表予想を上回るものの、米穀事業において今年後半から始まる平成28年産米の新米価格は平成27年産米を上回る高値でスタートすると見られる中、消費者の生活必需品に対する低価格志向が根強いため、家庭向けコメ消費の落ち込みが予想されること、平成28年7月26日に開示した連結子会社の株式譲渡による食品事業の売上高の減少等から、前回発表予想の通りと見込んでおります。

また、連結営業利益と連結経常利益については、第2四半期累計期間の利益見通しは前回発表予想を大幅に上回るものの、国内における平成28年産米の新米販売の先行きが不透明であること等から、前回発表予想より小幅な増加に止まると見込んでおります。

さらに、連結子会社の株式譲渡による譲渡益の発生等から、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る見通しです。

(注) 本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。さらに業績に影響が生じる場合は、判明次第お知らせいたします。

以上